

7月29日(土)劇場ウォッチング「パイプオルガン大冒険！」

たくさんの感想と質問をお送りいただきありがとうございました。

皆さんからいただいた質問にお答えします。

回答者 パイプオルガン奏者:米山浩子(無印)、舞台係スタッフ(★)

Q. ドイツから材料を運ぶ時、船か飛行機で運んだと思うのですが、何回に分けて日本に持ってきたのですか？
また1回で、どのくらい運びましたか？

A. 通常、船便で一回で運ばれて来るかと思えます。現地について、足りないもの、必要な道具などが出てきたら、飛行機等で追加で運ばれる事もあるようです。

Q. パイプオルガンのメンテナンスには、何日くらいかかりますか？

A. 通常、リードパイプのみの調律等でしたら、半日から1日くらいだと思います。
フルーパイプの調律は、基本的に行いません。

Q. パイプオルガンを弾いてる時はどんな気持ちですか？

A. オルガンは一台ずつ違います。まず楽器に向かって、これから弾かせて頂きます。と、ご挨拶します。それから、その楽器の音が最大限魅力ある音として響くように集中します。綺麗な音が鳴り響いた時は、本当に嬉しいです。

Q. パイプオルガンをやりたいと思ったきっかけは何ですか？

A. まずは音色の美しさです。
手足を使って弾く楽器、大好きなバッハの作品をたくさん弾ける事もあり、習い始めてからは夢中でした。

Q. パイプオルガンは、いつ誕生したのですか？

A. パイプオルガンの原型と言われている水オルガンができたのが、紀元前3世紀頃と言われています。

Q. パイプオルガンを使った、有名な曲は何ですか？

A. バッハの作品で言えば、トッカータとフーガ ニ短調、フーガ ト短調などが特に知られています。
オペラ座の怪人、宇宙戦艦ヤマトなどにも使われています。

Q. 50年に1度パイプをはずして整備するとのことですが、パイプはどうやってはずすのですか？

A. パイプは、穴が空いている木の板にさしてあるだけなので、引っぱって抜きます。

Q. オーケストラと一緒に演奏することがあるのですか？
オーケストラの楽器とパイプオルガンの音がかぶってしまうことはないのですか？

A. オーケストラと一緒に30年くらい弾かせていただいています。
音がかぶり、厚みを増すためにも使われますし、ソロとして浮き立たせて作曲されている場合もあります。

Q. パイプオルガンの年間のメンテナンス費用はいくらですか？

A. メンテナンスの費用は、会社にもよりますし、正確には分かりません。
時給や人数などで計算する事もあるようです。

Q. 2階に音響調整室があるのには意味があるのですか？ ★

音響調整室は、一般的に客席の後方に設置します。
A. ウィーンホールは設計上の都合で2階に設置する形になりましたが、どりーむホールは1階、ふるさとホールは2階の後方にあります。

Q. ホールの中(天井)の棒はどうしてあんなにたくさんあるのですか？

A. ホールには、音響設計士が関わります。ウィーンホールにとって一番良い響きを計算されて作成されました。

Q. パイプで表に見えている物と隠れている物はどの様に分けられているのでしょうか？

A. 表に見えるのは、デザインのためもあり、全体の印象を加味して、低く長いパイプをどこに設置したら、美しいデザインになるか設計し、残りを木の箱におさめます。

Q. パイプオルガンを弾くためにどうして階段を上るのですか？

A. オルガンの設置、音響にふさわしい場所を設計し、パイプオルガンは設置されています。高さがあったので階段をつけて、上り下りして弾いています。

Q. パイプオルガンはどうして大きいのですか？ どうして長さがバラバラなのですか？

パイプの長さは音の高さや低さで決まります。そのため、音程により長さがバラバラです。
A. パイプオルガンは、一番低いドの音に必要なパイプの長さは、16フィート(約5メートル)は必要です。つまり、パイプの長さ以上の大きさのケースが必要になり、さらに鍵盤の場所などを加えるため、大きくなります。

Q. 見えないパイプは何本くらいあるのですか？

A. ウィーンホールのオルガンのパイプは、全部で3636本。
見えているパイプは、158本なので、3636本-158本=3478本です。

Q. パイプはどうして上向きと観客向きに伸びているのですか？

A. 上向きなのは、場所を取らずに鳴らしやすいためだと思います。
観客向きに伸びているのは、凹凸感が出て、見栄えの良いデザインであるのと、鋭い音をより届けるためだと思います。

Q. 音量はどうやって調整しているのですか？

A. 音量は、音色を足していくと、増します。基本的には、8フィート、4フィート、2フィート長さの音を足していき、足すごとに音量が増します。

Q. なんで鏡があるのですか？

A. 鏡は、客席の様子を見るためにあります。
コンサートによっては、舞台の指揮者や他の演奏者を見ながら、伴奏するためにあります。

Q. パイプが3636本あると言っていましたが、音も3636個あるのですか？

A. 音色の種類としては、46種類ですが、同じ名前の音のパイプも入れて、全部で3636本鳴ります。

Q. パイプオルガンはドイツ以外で作れないのですか？ 日本では作らないのですか？

A. パイプオルガンは、ドイツを含めたヨーロッパやアメリカ等に多いですが、日本でもオルガンを作る会社が数社あります。

Q. パイプオルガンは、何年くらいで弾けるようになりますか？

A. それぞれの人の技量や曲にもよりますが、手と足を使って弾けるようになるには、少なくとも約1年はかかるかと思います。

Q. 先生はどうしてそんなにパイプオルガンが上手なのですか？コツは何ですか？

A. コツは、自分が奏でている音をよく聴いて音質を模索する事。また、心が乱れていると良い音が出ないので、深呼吸などしたりして態勢も整える事も大事だと思います。

Q. パイプオルガンは、小さくて何メートルですか？

A. 移動式のポジティブオルガンは小さく、130×65×78センチなどがあります。会社によって違うかと思います。

Q. パイプオルガンはどうやって掃除をするのですか？

A. 年に数回の調律などの時に、パイプ周りの掃除をします。
パイプ周りのホコリなどを手や小型掃除機などで掃除をします。

Q. パイプオルガンは動かすことができますか？

A. ウィーンホールのオルガンは固定式パイプオルガンのため、解体しない限り、動かせません。

Q. 子どもから大人まで誰でも触れて演奏しても良いパイプオルガンは、国内に存在しますか？

A. プロのオルガニストでも、自由に触れたり演奏できる楽器は、なかなかありません。手作りの貴重なパイプオルガンなので、様々な手続きがいるかと思います。

Q. パイプオルガンの足で弾く鍵盤の上の方にあった小さい黒鍵みたいなのは、どういう時に使うのですか？



A.

これは、踏む事で機能が変わります。
コンビネーションにセットしてある音の組み合わせから、リードパイプのみ抜いたり入れたり、カプラーという機能の装置を抜いたり入れたりなどするものです。

Q. パイプオルガンの横にあるボタンは、なんの役割をしているのですか？

A. ウィーンホールのオルガンは、スイッチ式のストップで、パイプの音色が書かれています。
そのスイッチ式のストップを組み合わせ、曲に合う音色を作ります。

Q. 音を出すふいごのスピードは、風速何メートルですか？

A. 送風室というより送風器の中の風圧が大事なようです。
正確な数字は分かりませんが、それほど強くないと思います。

Q. パイプオルガンはいくらですか？

A. ウィーンホールのオルガンの値段は、制作、解体、組み立て、運搬費、旅費、人件費など含めて、約1億円です。

Q. パイプオルガンは世界で何台ありますか？

A. 世界で何台あるか、私も知りたいですが、ヨーロッパやアメリカの教会などにもたくさん入っています。正確には分かりませんが、かなりの数だと思います。

Q. どうやってパイプオルガンを作るのですか？

A. パイプをハンダ付けなどして作る人、ケースを作る人、鍵盤を作る人など各部署があり、作り上げるようです。

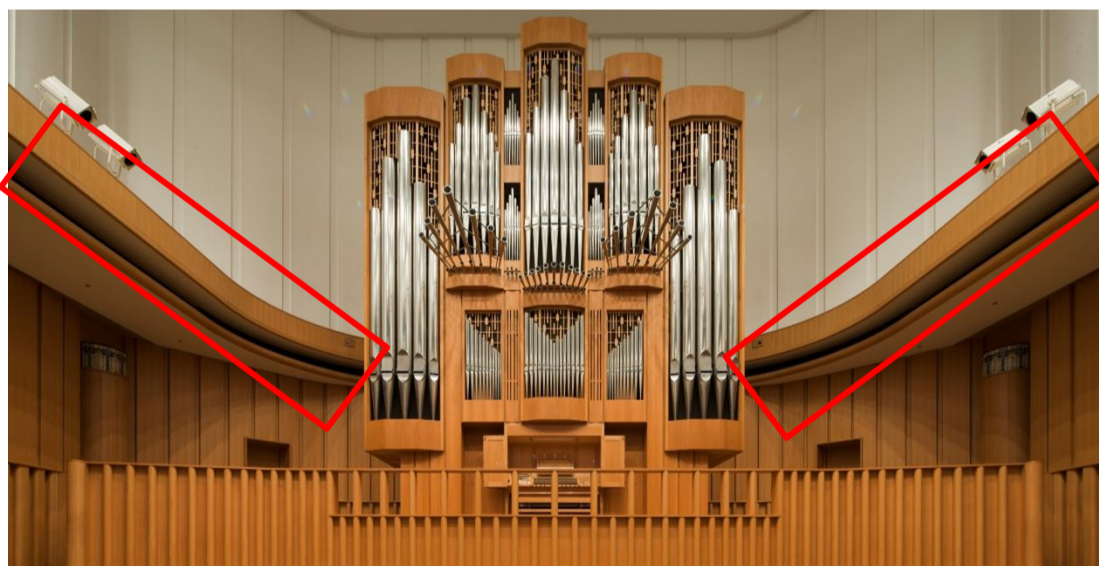
Q. 音響調整室のボタンは全部で何個ですか？★



A. た

音響調整卓のボタンを数えました。
スイッチは426個、つまみは90個ありまし

Q. ホールの上にある黒い茶色の隙間は何ですか？



A.

赤い口で囲ったところは、
空調の吹き出し口です。

Q. 見えているパイプが158本ということは、他のパイプはどこにあるのですか？

A. 実は正面に見えているパイプの奥に木のケースがあり、その中に入っています。

Q. 3636本のパイプの音を3段の鍵盤と足で踏む鍵盤をどうやって鳴らすのか知りたいです。

A. まず、手の鍵盤、足の鍵盤で使いたい音を選びます。
あとは、鍵盤で手足で弾きますと、弾いた鍵盤の音になる仕組みになっています。

Q. パイプの上にはフタがついているのか知りたいです。

A. パイプの上にはフタがついているパイプ(開管)とついていないパイプ(閉管)があります。

Q. パイプオルガンのパイプはどれも鉄パイプなのか知りたいです。
(パイプオルガンに使われている材料は何ですか。)

A. パイプの材質は、鉄ではなく、スズと鉛(ナマリ)を混ぜて作られています。

Q. どうやって3段の鍵盤が弾けるのですか。

それぞれの鍵盤に特徴があります。

A. ウィーンホールオルガンは、二段目が主要鍵盤です。一段目がバッハの作品などバロック時代に適した音色が備えられていて、三段目は、ロマン派の時代に適した音色が備えられていて、作品によって弾き分けています。

Q. パイプオルガンを弾いているとき何が一番難しいですか。

A. 曲によって技術的に難しいところは、より集中力が必要ですが、弾きながら邪念が入らないように、例えば今のところの音が綺麗に弾けなかったなど余計な事を考えないようにする事が難しいです。

Q. どうしてパイプオルガンの椅子は大きいのですか。

A. 足鍵盤があるパイプオルガンは、その足鍵盤にあたらないように足鍵盤の幅以上に椅子の底辺が必要です。椅子の上の部分の幅が底辺より短い椅子もありますが、大半は、底辺と同じ幅があり、全体が大きい椅子となります。